

暖房器具による火災に注意！

寒さが厳しくなり、皆さんのお宅でもストーブやファンヒーターなどの暖房器具が活躍していることと思います。しかし、一方で暖房器具の使用により住宅火災の危険性も高まってきます。火災はちょっとした不注意から発生します。暖房器具を正しく安全に使用し、寒い季節を快適に過ごしましょう。

暖房器具から火災が発生する場合は、使用者の「誤使用・不注意」が原因です。暖房器具を使用する場合は、以下のことを守って火災予防に努めましょう。

暖房器具からの火災を防ぐポイント

□可燃物の近くで使用しない

カーテンや衣類、布団、新聞・雑誌類など燃えやすい物のそばでは使用しないようにしましょう。また、ストーブの上で洗濯物を乾燥するのは、洗濯物が落下して火災になるおそれがあるので絶対にやめましょう。

□スプレー缶などを暖房器具の近くに置かない

スプレー缶やカセットコンロのガスボンベなどをストーブやファンヒーターの近くに放置しておくと、缶が過熱されて内圧が上昇し、破裂して吹き出したガスにストーブなどの火が引火して火災になるおそれがあります。

□就寝時や外出時は確実に消す

布団の近くでストーブなどを使用していると、寝返りをうった際に布団や毛布がストーブなどに接触して火災になるおそれがあります。寝るときや外出するときは暖房器具のスイッチを切る（消火する）習慣を身につけましょう。

□給油作業は消火してから

石油ストーブに給油する際に、灯油に引火する事例も発生しています。給油の際は消火し、灯油のカートリッジタンクのふたが確実に閉まっているか確認しましょう。

